

第32回 埼玉県児童発達支援事業職員実践交流セミナー

開催要領

開催テーマ

「あたたかい風が吹く支援をめざして」

ー 支援者同士のつながり作りを 「あいたい」「ききたい」「しゃべりたい」 ー

開催趣旨

発達が気になる子、配慮が必要な子への支援、ご家族への支援、他の事業所や幼稚園・保育所、医療、教育とのつながり作り等々、皆さん日々奮闘されていることと思います。

昨年度3年ぶりにこの実践交流セミナーを再開することができました。当日は、県内41事業所から154名の参加がありました。同じ志を持つ支援者同士が対面で集う久しぶりの研修会でしたが、サブタイトルであった「あいたい」「ききたい」「しゃべりたい」の思いを叶えることができた時間になったと思います。そしてその熱量を受けて、今年度のセミナーも実施させていただきます。

今年度、児童期の支援は大きな変化がありました。報酬改定、ガイドラインの見直しと、より細かな根拠のある支援が求められるようになってきています。その変化に追いつかず右往左往してしまった一年だった方も多かったと思います。しかし、支援で大切にしたいこと、力を注いでいきたいことは、これまでと何も変わることはない、同じだと思います。これまで目指していた「あたたかい支援」を、これからも大切にしていきたいと思います。そんな思いをこのセミナーでも確かめ合いたいと思います。

今年度も、埼玉県発達障害福祉協会、埼玉県児童発達支援連絡協議会（旧埼玉県通園施設協議会）、埼玉県理学療法士会の主催三者で、6月から月1回のペースで会議を重ね準備をしてきました。午前の講演会では『子どもの発達支援と保護者支援 ―保護者の障害受容とペアレントトレーニング―』というテーマで、立正大名誉教授の中田 洋二郎先生にご講演をいただきます。また、午後は4つのセッションを企画しています。

この機会に、私達が日々取り組んでいる支援の4つの柱“本人支援”“家族支援”“地域連携”“移行支援”を改めて見つめ直していただき、“今、ここ”での、子どもや家族との向き合いと、将来を見据えた支援の在り方、地域における児童発達支援の役割等について、学び合っていきたいと思います。

「あいたい」「ききたい」「しゃべりたい」といった皆さんの思いの交流ができ、明日からの実践が楽しみになるような時間を、一緒に作り上げていきたいと思います。

- | | |
|----------|--|
| 1 主 催 | 埼玉県発達障害福祉協会
埼玉県児童発達支援連絡協議会
公益社団法人埼玉県理学療法士会 |
| 2 企画実施 | 埼玉県児童発達支援事業職員実践交流セミナー実行委員会 |
| 3 後援(予定) | 社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 |
| 4 期 日 | 令和7年2月16日(日) |
| 5 参 加 者 | 県内児童発達支援事業所職員(支援に携わる全職員)、関係機関職員 |
| 6 会 場 | 彩の国すこやかプラザ 2階 セミナーホール(「12会場案内図」参照) |

7 日程及び内容

9:30 9:50 10:00

11:50

13:15

16:15

受付	開会	講演会	昼食・休憩	セッション	閉会
----	----	-----	-------	-------	----

(1) 講演会 (10時～11時50分)

テーマ 「子どもの発達支援と保護者支援」
～保護者の障害受容とペアレントトレーニング～

講師 中田 洋二郎 先生
(立正大学名誉教授、日本ペアレントトレーニング研究会副会長)

児童発達支援ガイドラインの改定があり、本人支援とともに、家族支援が4つの柱の一つとなっています。障害児通所施設で家族支援を行う必要性が示されていますが、実際どのように行っているのでしょうか。保護者支援に悩んでいる事業所、支援員の方も多いことと思います。

発達臨床心理学、発達障害の家族支援がご専門の中田 洋二郎先生は、都立知的障害児通園施設心理判定員、国立精神・神経センター精神保健研究室長、福島大学大学院教授を経て現在は立正大学名誉教授、日本ペアレントトレーニング研究会副会長。乳幼児健診の発達相談、特別支援教育の巡回相談、ペアレントトレーニングの実践で、日本のペアトレ普及に大きく貢献されています。

先生の講義を受け、お子様への発達支援、保護者支援の在り方を一緒に考えていきたいと
思います。事前アンケートにぜひご記入していただきますようよろしくお願いいたします。

(2) セッション (13時15分～16時15分)

別紙「セッション一覧」をご確認の上、参加申込書に希望するセッションの番号
を入力してください。(10 セッションの事前アンケートについて 参照)

なお、会場の都合で、申込人数によってはご希望に添えない場合がございます
ので、あらかじめご了承ください。

8 申し込みについて

(1) 下記 URL または二次元コードよりお申込みください。

必要事項を記入の上、令和7年1月17日(金)までにお申し込みください。
申込みが完了すると、自動確認メールが届きます。携帯、スマートフォンから
もお申込みができます。

申し込み URL:

<https://ws.formzu.net/dist/S582675982/>

二次元コードからも
申し込みいただけます



(2) 申し込みについての問い合わせ先

埼玉県発達障害福祉協会 事務局

埼玉県社会福祉協議会 施設業務課内 担当：淋代（さびしろ）

Tel : 048-822-1467 Fax : 048-822-3078

Mail:sabishiro@fukushi-saitama.or.jp

9 参加費及び申し込み方法

(1) 参加費

1, 000円（講演会、セッション含む）

(2) 振込みについて

令和7年1月24日（金）までに以下の留意事項をご確認の上、指定の銀行口座にお振り込みください。

なお、当日現金でのお支払いはお受けできませんので、ご了承ください。

<留意事項>

- (1) 銀行備え付けの振込用紙をご利用ください。振込手数料はご負担願います。
- (2) 振込受領書をもって、領収書に代えさせていただきます。なお、公費で研修を受けられる方で領収書が必要な方は、研修日当日、受付にお申し出ください。
- (3) 振り込まれた参加費は返金できません。代替りの方の参加は可能です。
- (4) 申し込みフォームの「参加費の振込について」の欄に、振込日等必要事項を明記してください。
- (5) 法人や団体、会社名義でお振込みいただく場合、申し込みフォームの「その他備考」に12文字以内で振込人名義を記入し、その通りの名義で振り込みをしてください。
- (6) 事業所単位等複数人一括で振り込む場合は、代表者の方お一人が振込内容について御入力下さい。

<振込先>

銀行名：埼玉りそな銀行 鳩ヶ谷支店
口座番号：普通預金口座 4549952
名 義：「埼玉県児童発達支援連絡協議会 堀口美帆子」

※口座管理の都合上、主催団体のひとつである埼玉県児童発達支援連絡協議会の口座を使用します。尚、会計管理は、セミナー実行委員会にて行います。

10 セッションの事前アンケートについて

参加されるセッションのアンケートを下記フォームから御回答ください。

講演会のアンケートと、各セッションのアンケートがありますので、両方共にご記入いただきますよう、よろしくお願いいたします。

アンケート URL : <https://forms.gle/766duftejh7SueHR6>

回答〆切：令和7年1月27日（月）

二次元コード
からも申し込み
できます



11 その他

- (1) 会場周辺にはレストラン等がありませんので、昼食については各自ご用意くださるようお願いいたします。
- (2) 駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- (3) 対面での研修となりますので、ご自身の健康状態等、感染予防への配慮の程、よろしくお願いいたします。
- (4) 参加申込書の記載事項は、当会で出席や受講等の情報管理を行うこと、研修当日の参加者名簿として配付すること以外の目的には使用いたしません。

12 会場案内図（彩の国すこやかプラザ）

【住所】さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-6 5（JR 与野駅西口 徒歩 10 分）



13 問い合わせ先

講演会及びセッションの内容についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【講演会・セッションのお問合せ先】

担 当	氏 名	施 設 名	電 話 番 号
実行委員代表	柳澤 健一	社会福祉法人みのり福祉会 児童発達支援センターあんず	04-2969-3355
第1セッション	吉原 旦容	羽生総合病院 リハビリテーション科	048-562-3000
第2セッション	松原 智子	さいたま市総合療育センター	048-783-2493
	渡澤 実央	ひまわり学園	
	荒井 美月	川口市心身障害福祉センター わかゆり学園	
第3セッション	横田 麻衣	所沢市立松原学園	04-2990-3488
	服部 幸子	川口市心身障害福祉センター わかゆり学園	048-282-9553
	佐藤 和子	所沢市立松原学園	
	千葉 まどか 丸山 真理	富士見市立みずほ学園	049-252-3237
第4セッション	小林 睦美 星加 美恵子	新座市児童発達支援センター アシタエール	048-485-9783
	池田 房道	社会福祉法人ひらく会そだち園	
	平池 厚作	川口市心身障害福祉センター わかゆり学園	048-282-9553
	堀口 美帆子	埼玉県児童発達支援連絡協議会 代表幹事	
	島村 育恵	所沢市立松原学園	04-2990-3488

※天候不良、感染症等、セミナー開催についての、前日及び当日の連絡先は、
080-8703-9655(あんず柳澤)となります。

	内容及び発表者	担当実行委員
第1セッション	テーマ 『発達に遅れのある子どもへの「遊び」を通じた支援』 ～小児理学療法士の視点から～ 講師： 宮本 清隆 先生 （中川の郷療育センター 理学療法士） なぜ「遊び」が療育のテーマになるのでしょうか？ 今回は「遊び」の中でも、おとなである私たちもかつて子供だったときに大好きだった「スキンシップ」「動く」「じゃれつき遊び」を取り上げます。ワークショップを通じて運動に困難のある子どもたちが経験していることを私たちも体験してみましょう。 「遊び」は子どもにとって生活の中心です。「遊び」は子どもの成長に欠かせない活動です。子どもは「遊び」を通じて、他人と楽しく関わること、新たな気づきや興味の拡大、身体を使った活動をどんどん経験していきます。しかし、子どもたちの中には、ちょっとした感覚体験のつまずき、あるいは重い運動障害によって「遊び」を経験できないことがあります。地域で働く私たちの重要なミッションの一つには、子どもの「遊び」のつまずきを早く取り除き、心地よい、最高に楽しく、エキサイティングな「遊び」を経験するための支援をおこなうことが含まれています。一緒に方法を考えてみましょう。 *第1セッション参加希望の方は、フォームから事前アンケートへのご回答をよろしくお願いいたします。※「10セッションの事前アンケートについて」参照	神原 孝子 (埼玉県立小児医療センター) 魚瀬 ひいろ (株式会社おやとこサンキッズ) 埼玉県 理学療法士会
第2セッション	テーマ 『 あそび 』 日頃、どのように遊びを考えたらよいか、この遊びって難しいな？等遊びについて戸惑うことはありませんか。今回このセッションでは、発達支援の経験年数が10年ぐらまでの方を対象に日頃の遊びについてグループワークで語り合います。 前半の自己紹介では各施設で行っているサーキットや運動遊びの設定の写真を持ち寄り、どんなことを工夫しているか等の情報交換をしながら遊びの引き出しを広げ日々への活動に活かしていければと思います。 後半は事前に伺ったアンケートのテーマを参考に、グループワークを行います。日頃遊びについて思っている疑問や悩んでいることを気軽にしゃべりませんか？この機会を通して各施設で取り組んでいる遊び方やお子さんへの援助の仕方を知ることによって少しでも療育への自信に繋がればと思います。リフレッシュをした後は、子どもと楽しく遊んでいきましょう。 *第2セッション参加希望の方は、フォームから事前アンケートへのご回答をよろしくお願いいたします。※「10セッションの事前アンケートについて」参照	松原 智子 渡澤 実央 (ひまわり学園) 荒井 美月 (わかゆり学園) 横田 麻衣 (松原学園)

	内 容 及 び 発 表 者	担当実行委員
第 3 セ ッ シ ョ ン	テーマ 「家族支援・保護者支援」 保護者と信頼関係を結び、支援を進めていく中で、悩みは尽きないテーマに「家族支援・保護者支援」があります。 実行委員会の中で、親子登所と単独登所での保護者との関係作りで大切にしている事や参観や懇談会などをそれぞれの施設の状況や取り組みを情報交換できたらいいねと話題になりました。 その中でも「きょうだい支援」、「外国籍の保護者への支援」、「偏食がある家庭への支援」についての難しさなど、たくさんの悩みが出されました。 そこで、今年度はアンケートに家族支援の中で、大事にしている事、工夫している事—などを具体的なエピソード添えて、記入していただき、グループに分かれて話し合いたいと思います。 午前中の中田洋二郎先生の講演「親支援『子どもの発達と保護者支援』～保護者の障がい受容とペアレントトレーニング～」の受講後に、話し合いの中で支援のヒントを得る機会や学び合える場にしていきましょう。 *第3セッション参加希望の方は、フォームから事前アンケートへのご回答をよろしくお願いします。※「10セッションの事前アンケートについて」参照	服部 幸子 (わかゆり学園) 佐藤 和子 (松原学園) 千葉 まどか 丸山 真理 (みずほ学園) 小林 睦美 星加 美恵子 (新座市児童発達 支援センター)
第 4 セ ッ シ ョ ン	テーマ 「地域連携」 「こどもがこども」であること。障害の有無や状況に関わらず、ライフステージの中で安心して暮らせる街「地域社会」は、こどもや保護者は勿論、私たち皆の願いです。療育（児童発達支援）から地域社会への参加、包括（インクルージョン）、それはいつの時代も永遠のテーマだと思います。児童発達支援に求められる「地域支援」の中でも、今回は「訪問支援」をテーマに考えていきたいと思います。幼稚園や保育園、事業所など様々な場所へ訪問に行く際に悩みや難しさを感じていることはありませんか？職場内でも、担当者が少数で相談し合う機会が少なくありませんか？ ①「併用先との連携のための訪問」 ②「保育所等訪問支援」の 2つにテーマを絞り、テーマごとに分かれて皆さんで意見交換をしたいと思います。 「誰が訪問しているの？」「保護者とどのように共有している？」「訪問頻度や時間帯は？」「支援計画へのいかし方や作成の仕方」等、日々の現状や上手くいったケース、<u>難しかった</u>ケースを共有しながら、今後の支援につなげていきましょう。地域状況の違いはありますが、皆で一緒に考えてみませんか。 *第4セッション参加希望の方は、フォームから事前アンケートへのご回答をよろしくお願いします。※「10セッションの事前アンケートについて」参照	池田 房道 (そだち園) 平池 厚作 (わかゆり学園) 堀口 美帆子 (児童発達支援連絡 協議会) 島村 育恵 (松原学園)